

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	太田市議会 総務企画委員会		代表者名	委員長 今井 俊哉	
担当者部署	議会議務局議会総務課		連絡先電話番号	0276-47-1914	
担当者役職	係長代理	担当者氏名	深須 光太郎	連絡先E-mail	
住所	373-8718 群馬県太田市浜町2番35号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	太田市	連絡先部署	企画部情報管理課		
担当者氏名	小林 誠司	連絡先電話番号	0276-47-1813	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	横田 有平				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の背景や事例について熟知している。</li> <li>具体的な事例により現状や今後の展望など、説明内容が充実している。</li> </ul>				
アドバイザーへの要望事項	特になし				

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月17日	12時00分	16時00分		240
3-2. 派遣場所	会場名	太田市役所		最寄駅	東武鉄道 太田駅
	所在地	群馬県太田市浜町2番35号		最寄駅からの交通手段	徒歩（10分程度）
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	議員、職員	30 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の利活用が十分に見込まれるものの、現在においてはまだ馴染みの薄い分野であり、具体的なイメージが持てていない。</li> </ul>	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事例等からシェアリングエコノミーの仕組みを理解し、地域課題解決に向けた糸口とすること。</li> </ul>	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下について講義を受けました。</li> <li>シェアリングエコノミーの概要（経緯、現状等）</li> <li>シェアリングエコノミーの活用事例紹介</li> <li>地方自治体の課題解決へ向けたシェアリングエコノミーの活用</li> <li>シェアリングエコノミーと行政のデジタル化・DX化との相乗効果</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例紹介等からシェアリングエコノミーの具体的なイメージを持つことができ、自治体において高齢化や観光、交通、子育てなど課題が山積する中、今後の課題解決に向けた考え方の一つとして認識することができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	自治体の限られた予算の中で資産の有効活用等により課題を解決していくことや、負担となる公共サービスの一部を民間の仕組みにより補うことなど、課題解決の考え方を認識した。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 主に議員を対象とした講演のため、アンケートは行わないこととしていた。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今後の議員活動等において、市民サービスの向上や地域活性化等につなげるため、各施策への提言等に反映していくための考え方の一つとしていく。

6. 地域情報アドバイザー支援の様子

